

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	保健センター事務管理事業			会計	款	項	目	大	小
				01	04	01	01	10	01
政策	04	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	健康増進課				
施策	4-4	健康で明るい暮らしづくり		主管課長	伊原 理香				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民	意図	保健衛生活動の拠点となる保健センターの維持管理及び職員の資質向上を図る。
事業内容	1. 保健だよりの発行や関係諸団体との連携により、保健に関する情報提供及び啓発事業、環境整備を行う。 2. 拠点となる保健センターの維持管理（光熱水費、修繕料、清掃委託料、研修費用等）			
事業開始から現在までの状況変化	保健衛生行政の中核施設として、昭和50年5月保健センター開所（東初石）するも、多様化する保健衛生事業に対応するため、昭和62年4月移転（西初石）し、地域保健法に基づく市町村保健センターとして母子保健、成人保健等の事業に取り組んできた。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
指標で表すことができない定性的な成果	市民が安全・快適に利用できるよう施設の修繕等を実施して、維持管理に努めた。					目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）	
事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)	32,552,456	33,274,832	41,805,862	・保健師等が専門的な研修を受講し、保健衛生に関する知識を習得することにより得た知識を活かし、各事業に取り組むことができた。 ・市民が快適に利用できるよう施設の修繕等を行い維持管理を行った。			
事業費(b)(円)	18,822,456	19,850,832	28,621,862				
うち一般財源	18,822,456	19,850,832	28,621,862				
職員給与と費(c)(円)	13,730,000	13,424,000	13,184,000				
人役・職員(人)	2.00	2.00	2.00				
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	職員や書類等の増員・増加に対して適切な事務環境を確保する。	③取組における課題(Check)	利用者の安全や快適性、適切な事務環境を確保していくため、継続的な点検や整理が必要である。
②H30に実施した取組(Do)	適切な書類管理・保管・整理について職員に周知し、点検・整理を行った。事務室を拡張・模様替えし、職員増員に対応した環境を確保した。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	必要な施設の修繕等を継続して実施していく。